

開発チームにカンバンを 導入した理由とその変遷

Timers

自己紹介

- 鈴木 健太郎 (Twitter: @suzukentaro)
- 年齢: 36歳
- 開発ディレクター歴: 14年
- 現職: 株式会社Timers プロダクトマネージャー



運営サービス紹介

家族アプリ「Famm」

家族アルバムで、家族全員と成長を共有



カレンダーは毎月1枚もらえる、両親にも



今日お話すること

- なぜアジャイル開発を導入したのか？
- いま何が起きているのか？
- チームとして知見をためられないか？
- どれだけ早く価値提供できるのか？

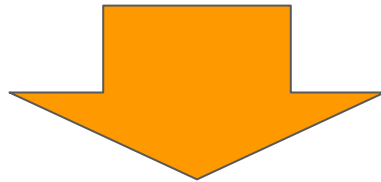
なぜアジャイル開発を導入したのか？
(2015年)

なぜアジャイル開発を導入したのか？

- Timersは2012年5月に創業
- 2015年5月に、アジャイル開発(スクラム)導入宣言！
 - アジャイル開発歴は4年目に突入??

なぜアジャイル開発を導入したのか？

- 課題点
 - ウォーターフォール型はデバッグが巨大になる
 - 開発後期に仕様変更や不具合修正が多いと、メンバーが気疲れする



スクラムで、ステップごとに自分たちの状態を見える化したい

しかし社内に定着せず😅

定着しなかった理由

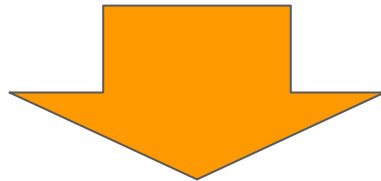
- 社員数が増え、チーム制→プロジェクト制に移行
- 新入社員にスクラムの教育がしきれなかった
- 短期完了プロジェクトの場合、スクラムイベント運営の手間を感じた

今何が起きているか？

(2017年)

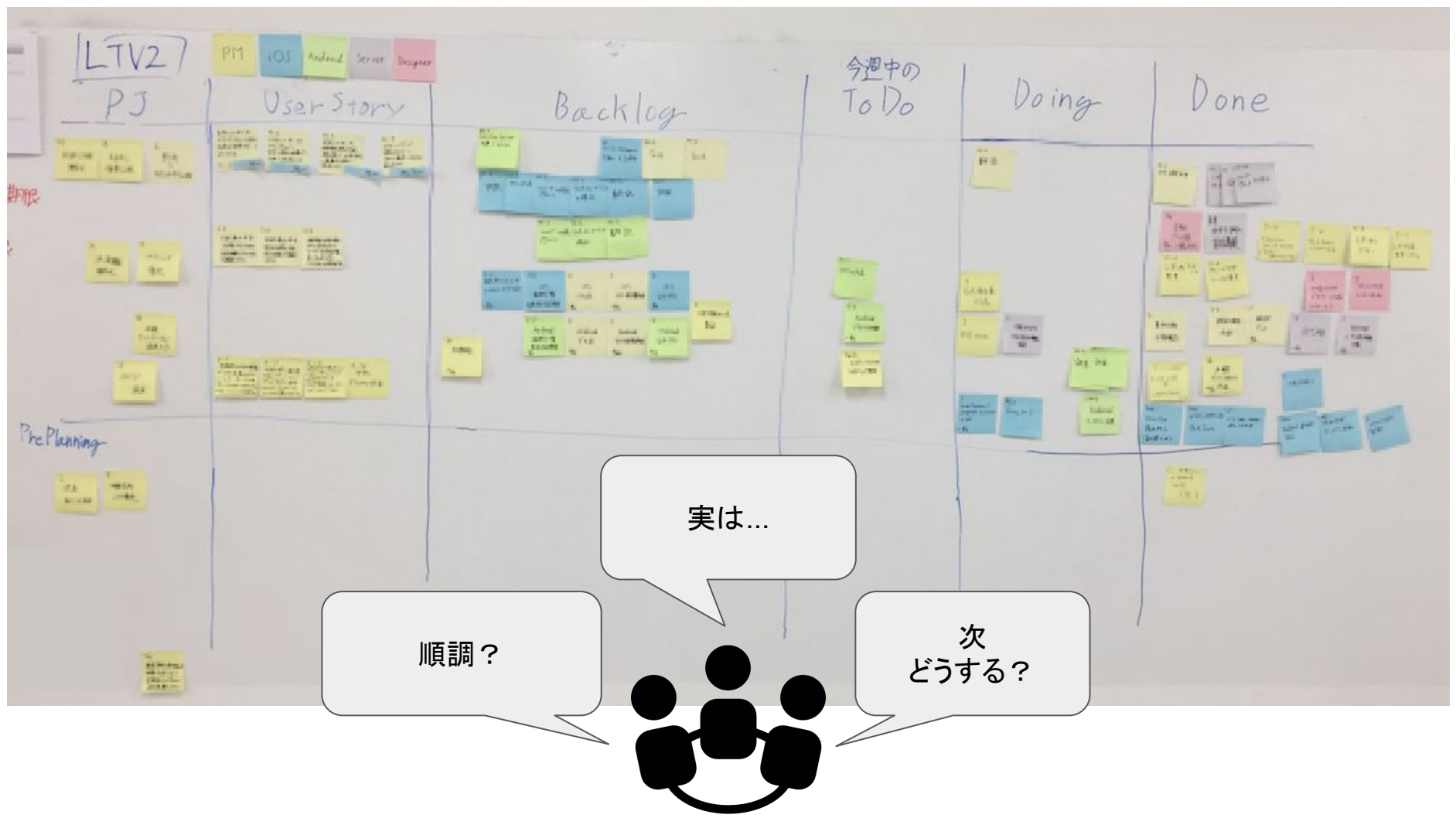
状態を見える化するためのカンバン導入

- 課題点
 - リリース期日は決まっているが、リリースまでの残工程がわからない
 - メンバーが続けている作業が、計画通りなのか問題なのかわからない



進捗状況を見える化し、チーム内で進め方を相談できるようにしたい

状態を見える化するためのカンバン導入



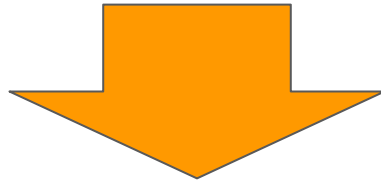
チームとして知見をためられないか？

(2018年)

チームで学んでいくためのカンバン導入

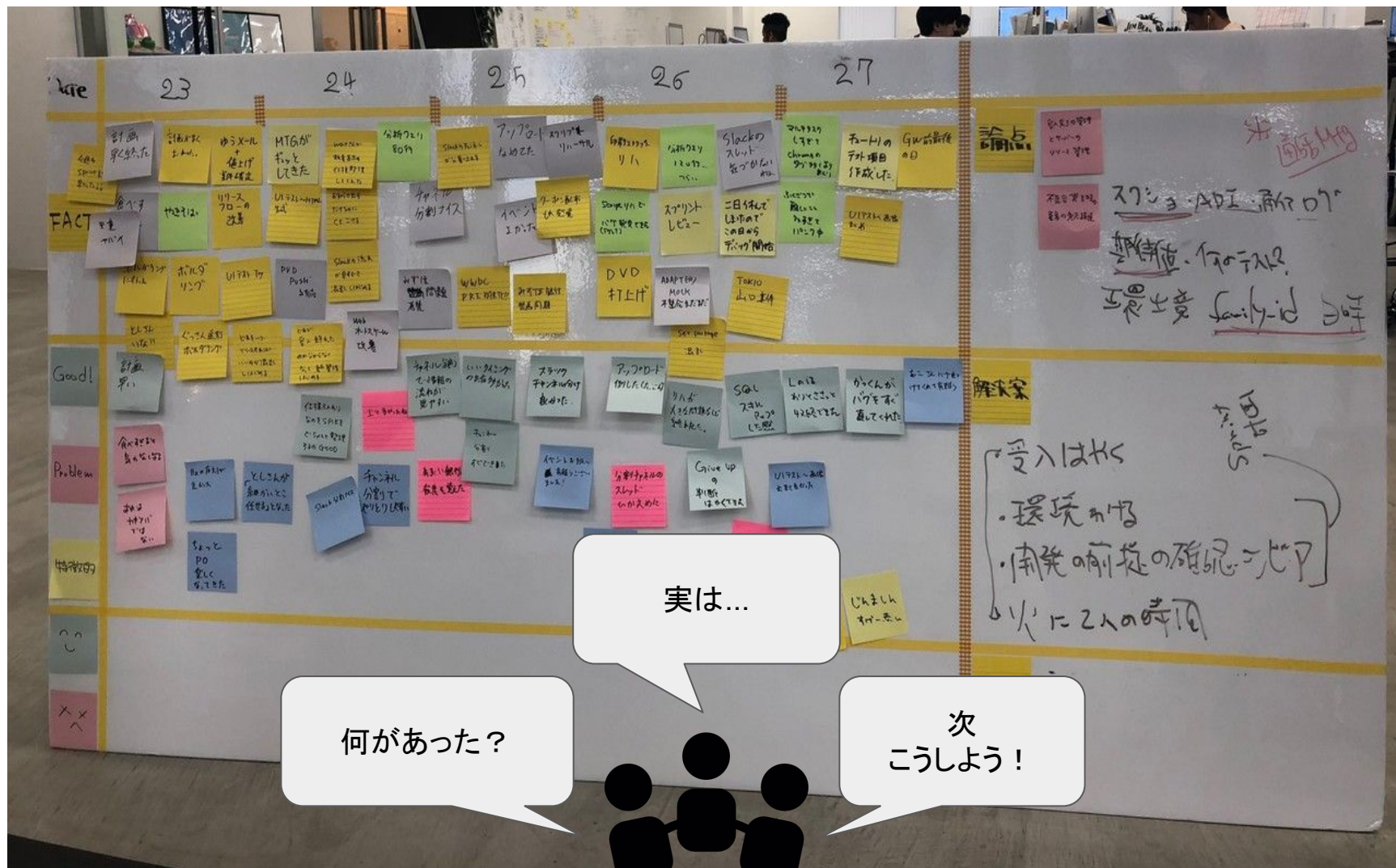
- 課題点

- ビッグバンリリースになりがちで、反動として障害対応が多くなる
- プロジェクトごとにチームを変更すると、チームの知見が溜まらない



スクラムの導入 & PJチーム→固定チーム化

チームで学んでいくためのカンバン導入

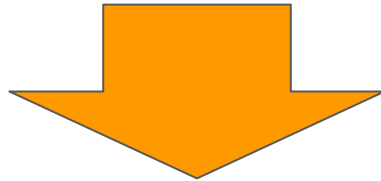


どれだけ早く価値提供できるのか？
(2019年)

早く価値提供するためのカンバン導入

- 課題点

- 複数開発チームで似た機能を開発し、競合や調整が発生する
- チームに縛られ、人・スキルに応じた最適なリソース配分ができない



1チーム化により、良いものを安定的に出荷したい

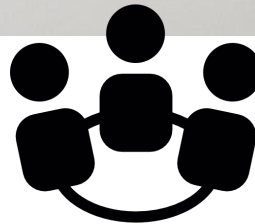
早く価値提供するためのカンバン導入



実は...

どうすれば
早く提供できる？

〇〇さんが
いいと思う！



まとめ

今日お話したこと

- なぜアジャイル開発を導入したのか？(2015年)
- 状態が見える化するためのカンバン導入(2017年)
- チームで学んでいくためのカンバン導入(2018年)
- 早く価値提供するためのカンバン導入(2019年)

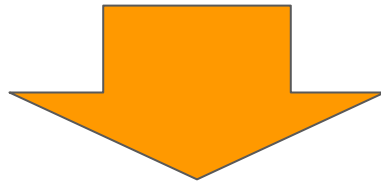
あわせて読みたい:開発チームにカンバンを導入した理由とその変遷

https://note.mu/amado_tech/



カンバンの変遷を通じて得られたこと

- それぞれの課題に合わせた解決策を(= 一気にやろうとしない)
- 導入する理由・背景を明確に答えられる人をメンバーに
- カンバンを通じて、チームと話そう



Timersでは、混乱の量を減り、チーム開発サイクルが早くなった

アジャイル開発4年目の会社に興味をもってくれた方は

家族にほこれるサービスをつくろう。



ものづくりを楽しもう。



開発メンバー絶賛募集中！

<https://timers-inc.com/>



フォトカレンダー クーポンプレゼント！

Famm

家族アプリの決定版



フォトカレンダー
1枚分(送料込)無料
クーポンコード

1907F

有効期限
2019年7月末日まで